

大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興 及び疏水通船航路延伸便実証事業の取組状況について

令和5年9月19日
大津市産業観光部観光振興課

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(1) 協議会設立の経緯

令和4（2022）年5月のNHK大河ドラマ「光る君へ」の制作発表を受け、本市では大河ドラマ放送を契機とした観光振興を目的に、同年10月、大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会を設立し事業を展開。

【本市負担金】

- ・令和4年度： 6,700千円
- ・令和5年度： 162,500千円
- ・令和6年度： 172,500千円（債務負担行為計上額）

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(3) 市内の機運醸成

①のぼり旗及び卓上旗の制作

- ・ 公共施設やゆかりの地への設置
- ・ 協議会員、協力事業者、店舗等への配布

②横断幕の制作

浜大津歩道橋、大津合同庁舎に設置



1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(3) 市内の機運醸成

③タペストリーの制作

- ・石山商店街の街灯120カ所のうち65カ所に設置

④大津市庁舎への懸垂幕の制作



1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(3) 市内の機運醸成

⑤協議会ロゴ及びイラストの制作

- ・商品開発や情報発信時に活用できるロゴの制作
- ・PR看板等に利用するためのイラストの制作

(びわ湖大津ふるさと観光大使の唐々煙氏の描き下ろし)



大津市大河ドラマ
「光る君へ」
活用推進協議会

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(3) 市内の機運醸成

⑥PR看板製作及び設置

J R石山駅にPRイラストを活用した看板を設置



1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(4) プロモーション

①前提条件

市場分析

- ▶ 新型コロナウイルスが「第5類」分類に変更され、旅行制限が実質なしに＝全国的な**旅行需要の高まり**
- ▶ 大河ドラマ放送時には、大きな観光誘客の波が訪れる。
- ▶ 大河ドラマ「光る君へ」放送で、「紫式部」「源氏物語」「平安時代」「平安時代の文化(国風文化)」等に**注目が集まる**。

大津市の強みや魅力

- ▶ 紫式部が「源氏物語」を執筆した場所＝「**源氏物語**」誕生の地
- ▶ 平安時代には「**石山詣**」が平安貴族たちの間で流行っていた史実があり、平安時代の文化や文学に触れ、学ぶことのできる**歴史的価値の高い文化財**がある。
- ▶ 紫式部の父は「**三井寺**」に出家、源氏物語に延暦寺や逢坂の関が登場など、さまざまなゆかりの地がある。

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(4) プロモーション

②ターゲットの設定

ドラマ視聴者や歴史好きの“既存”の「大河ドラマファン層」だけでなく、ドラマの話題性を活用し、観光旅行に積極的な「観光ファン層」をターゲットとしたプロモーションを実施し、持続的な「観光ブランド」の定着を目指す。

ターゲット①20～30代女性 観光ファン層

■ 選定理由

観光市場の中心に位置し、コロナ禍で観光意識が大きく下がらなかった層です。

また、旅行や消費行動に積極的な層であるとともにLTV(ライフタイムバリュー)=顧客生涯価値の高い層のファン化を狙うことで、継続的な誘客促進が目指せます。

- 最も旅行意欲が高いのは「20代女性層」
- これからの時代を担う世代のため、LTVが高い
- 観光を実施する絶対数が高いため=リピート来訪の可能性が高い

ターゲット② 大河ドラマファン層

■ 選定理由

歴史的背景に魅力を感じ、ドラマで放送された観光地を巡る「聖地巡礼」を目的に観光をする層で、ゆかりの地(石山寺など)への誘客促進が期待できます。

- 大河ドラマ視聴率が高いのは60代以上男女。
- 聖地巡礼を目的とし、歴史的背景や史実への興味関心が高い。
- 女性主人公作品は、女性視聴者が増える傾向にある。

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(4) プロモーション

③ターゲット別のPR戦略

ターゲット① 20～30代女性 観光ファン層



「紫式部」の心を動かした大津の魅力を感じさせる展開

キーワード:「癒やし」「創造性」「パワー」「学び」「恋」

●満足度を感じるポイント

- ・「紫式部」が感じた感動を自身も体験する事(＝追体験)
- ・人に自慢したくなるような特別な体験

●重点PRエリア:関西圏>東海圏＝県内

日帰り観光など、最も誘客につながりやすい「関西圏」を重点的 PRエリアとして効率的な認知獲得を広げ、来訪した観光者による拡散を狙う

ターゲット①のPR戦略

ターゲット② 大河ドラマファン層



紫式部が大津で起こした出来事を感じさせる展開

キーワード:「歴史」「平安文学」「平安文化」「本物」

●満足度を感じるポイント

- ・大津にしかない歴史を感じる文化財、ゆかりの地＝本物志向
- ・ドラマの追体験 ・平安文化などの新たな学びがあるか

●重点PRエリア:全国>関西圏＝東海圏>県内

大河ドラマ放送の注目度の高い時期に全国メディアでのPRを実施することで、大河ファンの確実な誘客を狙う。

ターゲット②のPR戦略

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(5) 誘客の取組

①特設ホームページの開設

大河ドラマ「光る君へ」放送を契機として、大津と紫式部や源氏物語とのゆかりや関連取組み（展示拠点や造成コンテンツ情報など）、その他関連情報等を発信するホームページを作成。

②JRラッピングトレインの運行

大津が紫式部ゆかりの地であることをPRするデザインをラッピングした車両を制作、主に東海道本線エリアを運行することで、広く関西圏でのプロモーションを図る。

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(5) 誘客の取組

③ 広域連携事業

ア 宇治市・越前市との3市連携

紫式部や源氏物語にゆかりのある宇治市・越前市との連携事業を実施し、相互誘客を図る。

- ・ 共同ホームページ及びSNSの制作、運用
- ・ 広域周遊施策（スタンプラリーなど）の実施

イ 滋賀県・京都府・宇治市・京阪HDとの広域連携

京阪沿線を活用した広域周遊施策を実施し、相互誘客を図る。

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(6) 拠点整備の取組

①大河ドラマ関連展示【明王院】

等身大パネル、映像コンテンツ、衣装、小道具等の展示

②平安文化関連展示【世尊院】

紫式部、源氏物語や平安文化に関連した展示



1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(7) 周遊の取組

①大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進事業支援補助金

大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に、来訪者の満足度向上や市内周遊促進を目的として事業者が実施する大津市の観光振興に資する取組みに対して、その経費の一部を助成するもの。

②市内事業者と連携した周遊促進事業

市内事業者等と連携し、来訪者の市内周遊を促す事業を展開する。

- ・市内公共交通機関と連携した1日乗車券等と組み合わせた市内周遊パスポート企画の実施
- ・商店街等と連携したクーポン付きガイドブックの配布 など

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(8) 物産振興の取組

①石山寺および門前での販売事業

来訪者の満足度向上のため、石山寺拾翠園や門前で大河ドラマ関連商品などの販売を行う。

②大河ドラマ関連商品の開発・販売事業

主に市内事業者に対し、大河ドラマ関連商品やグルメの開発を働き掛ける。出来上がった関連商品やグルメは、市内販売拠点などで販売できるようにする。

1 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした観光振興

(9) 今後のスケジュール

- ・ 令和5年10月 協議会総会を開催
大河ドラマ放送に関連した取組の実施時期や内容について発表
- ・ 令和5年10月～ 大河ドラマ放送のタイミングに応じPRを展開
HPやSNS、交通広告、JRラッピングトレイン等
- ・ 令和6年1月下旬 大河ドラマ関連展示【明王院】、
平安文化関連展示【世尊院】を開館

2 疏水通船航路延伸便実証事業の取組状況について

(1) 事業概要

現在、蹴上から大津乗下船場（三井寺）まで運航しているびわ湖疏水船について、更なる魅力の向上のため、大津乗下船場（三井寺）から大津港まで疏水船の航路を約2キロ延伸する。

<びわ湖疏水船の販売実績>

年	販売席数	販売率
2018(平成30)年	9,153席	98.3%
2019(令和元)年	12,915席	95.6%
2020(令和2)年	6,397席	89.9%
2021(令和3)年	6,198席	90.7%
2022(令和4)年	12,880席	89.5%

【仮設乗降設備工事費予算額】

- ・令和5年度：3,000千円



2 疏水通船航路延伸便実証事業の 取組状況について

(2) 疏水船航路延伸の目的

京都と大津を船でつなぐ観光コンテンツとして、平成30年度から運航する琵琶湖疏水通船を大津港まで延伸してびわ湖を経由することで、観光コンテンツとしての魅力を高めるとともに、びわ湖観光の玄関口である大津港からの市内周遊の促進を図る。



2 疏水通船航路延伸便実証事業の 取組状況について

(3) 疏水船航路延伸便の本格的な運航に向けた課題整理

- ・ 大津港における受入環境整備

 - 延伸便乗降設備の整備

 - 乗客レクチャー場所、スタッフ控室の確保

 - パンフレット配架、案内サイン設置

- ・ 琵琶湖運航に係る判断基準の策定

 - 疏水路と異なる琵琶湖の気象条件による中止の条件や判断の
タイミング等を考慮した運航判断基準の策定

- ・ 操船者及び乗船ガイドの人材育成

 - 安全かつ快適な運航に向けた訓練、研修

2 疏水通船航路延伸便実証事業の 取組状況について

(4) 令和5年6月実証運航の概要

- ・ 計6日間、疏水船延伸の実証運航を実施
- ・ 実証運航では、大津閘門の開閉、疏水船の操船、仮設栈橋の安全性や係留時のオペレーション等を確認

(5) 令和5年6月実証運航の乗船者のアンケート結果

- ・ 延伸便の安全性、商品価値については、総じて高い結果が示された。

※アンケート項目

大津閘門通過時、びわ湖航行時の安全性、大津閘門での水位調整時の体験の商品価値、大津港の栈橋の乗降時の安全性、延伸区間のガイドの案内

2 疏水通船航路延伸便実証事業の取組状況について

(6) 9月の実証運航について

- ・ 9月の実証運航に向けて、運航方針の策定、延伸便のダイヤ案の検討、運航管理規程の検討を行っていく。
- ・ 6月の実証運航の結果を踏まえ、修正後のオペレーションや乗降設備の安全性の実証、船長やガイドの集中訓練を行う。
- ・ 協議会関係者、近畿運輸局等の関係機関、クラウドファンディングの寄附者が試乗予定。マスコミ関係者の試乗も想定。

(7) 実証運航後の今後の方向性

- ・ 6月に続き、9月の実証運航後の乗船者に対してアンケート調査を行い、安全性はもとより、観光コンテンツとしての満足度向上につながるよう、取組に反映していく。
- ・ 延伸便の本格的な運航については、令和6年度春以降の実現を目指していく。